

## 平成21年度 事業計画書

### <基本方針>

財団法人盛岡地域地場産業振興センターは、盛岡広域圏内の地場産品の需要拡大、後継者の育成、新商品開発能力の育成、業界が必要とする情報収集提供など地場産業界の発展振興を目的とした機関として活動してまいりました。昨年度は岩手県を2回にわたる大地震が襲い多くの被害にみまわれた他、風評被害により各地の多くの観光施設が打撃を受けました。それに加え燃料の高騰もあり、本当に地場産業界や振興センターにとっては厳しい年でありました。そうした中、センターとしては「がんばろう岩手」を合い言葉に、施設外での地場産品販売や営業時間の延長、特別体験教室の実施など新たな事業に取り組みました。また、産直マルシェコーナーを活用し、岩手のレトルトカレーのオープンや野菜ソムリエとのコラボレーションによる幼稚園、保育園などの訪問イベントなども開催し、大いに話題づくりを行いました。21年度も引き続き盛岡手づくり村の話題づくりの中心的施設となる他、全国的に進められている公益法人改革についても研究を進めながら、今後の地場産業振興センターとしての使命や役割を検討し地場産業界や地域経済の発展、地域住民との交流を通じての地場産業振興センターのあり方を考えていきたいと考えております。また、国・県及び関係市町村、並びに関係諸団体と連携協調を図りながら施設の維持管理、地域との連携等の管理運営事業や、地場産業界のために情報収集や人材育成事業等を行う各種振興事業、展示即売や展示資料室並びに食堂運営等の直営事業を実施し、地場産業界や地域経済の活性化に大いに寄与して参ります。

以上のことから、平成21年度においては、以下の諸事業を実施するものであります。

### 1. 地場産業振興事業

盛岡広域生活圏内の地場産業振興のため、地場産品の普及を図る需要開拓事業、地場産品との触れあいの場を提供する体験学習事業・交流促進事業、そして地場産品・地場産品の展示品・映像により紹介する展示資料室運営事業を、積極的に推進する。盛岡市内をはじめとする県内及び全国各地から「盛岡手づくり村」に来村されるお客様に有効に活用を図っていく。

また、振興センター機能の一層の充実と、関係機関・専門家等との連携から、地場産品情報の受発信、地場産業界との共同事業、後継者育成支援等を積極的に行い、地域中小企業の活性化に努める。

#### (1) 需要開拓事業

- ・ 修学旅行生の土産購入額に応じて、取扱エージェントに手数料を支払い、増売を図る。
- ・ 修学旅行シーズンには、「盛岡のオススメ土産コーナー」を設置し、買いやすい売り場作りを目指す。
- ・ 出展業者が開発した『新商品』などを積極的に受け入れ、アンテナショップとしての役割を果たす。

また、POSシステムにより販売情報を分析し出展業者に提供し、ともに販売促進に努める。

- ・ 即売室内の商品の充実を図り、変化ある売り場づくりを目指す。  
また、消費者のニーズをとらえ、商品構成の見直し・新商品を開拓することで、お客様満足度の上昇を図る。
- ・ 地場産品をPRし、販売促進につなげるため、各出展者と協力し、積極的な試食販売を行う。また、「ミニ催事コーナー」を設け、販売強化を図る。
- ・ 繁忙期（5・8・10月）に「お客様感謝抽選会」を開催し、販売促進に努める。
- ・ お得意さま（バス乗務員等）向けに「即売室ポイントカード」を発行し、サービス向上に努める。
- ・ お中元・お歳暮など、即売室内にギフトコーナーを設置する他、チラシを作成し、地場産品の積極的な販売を行う。
- ・ 商品説明などPOPの充実から、買い手の立場にたった親切な売場づくりを目指す。
- ・ 県内で開催される各種イベントに参加し、地場産品の普及宣伝に努める。
- ・ 山口や山梨地域振興センター主催の物産展への出展販売
- ・ イオングループの店舗（主に盛岡南サティ）での定期的な出展販売
- ・ バーチャルモール「盛岡市産業まつり」（<http://www.rakuten.co.jp/morioka/>）の運営。現在のアイテム数、約450品目。  
旬の商品を広くPRし、地場産品の販路拡大を目指す。  
また、出展業者との連携を深め、ネット内で「プレゼント企画」などを積極的に開催するほか、定期的にメルマガで商品情報を提供することで、顧客確保に努め、購買者数を増やす。
- ・ ホームページ「盛岡手づくり村ドットコム」（<http://tezukurimura.com/>）の運営。  
本年度は相互リンク先を増やし、アクセス数の増大をはかり、多くのネット顧客をバーチャルモール「盛岡市産業まつり」へ誘導する他、月2回配信の盛岡手づくり村メールマガジン（毎月第2第4木曜日）において、各種商品やイベントなどの紹介を図る。

## （２）体験学習事業

好評を博しているお菓子づくり教室や料理教室等の講座の他、市民のニーズを捉えた手工芸講習会を開催し、地域住民の手づくり村利用促進と話題づくりを図る。

通年開催している手づくり教室に関しては、修学旅行をはじめとした教育旅行誘致活動を、北海道札幌地区、東京都全域、関西圏での教育旅行誘致説明会参加を主軸とし、併せて宮城県、岩手県内の独自セールス活動も積極的にを行い、来場団体の増加に努める。

また、夏休みや冬休み期間中の利用者増を図るため、特別メニューを充実させるとともに、告知用のチラシを近隣市町村の小学校に配布する等、近隣へのセールス活動にも取り組む。

- ・ 手づくり教室の開催（通年）  
陶器、染物、竹細工、わら細工、木工玩具、ホームスパン、こけし絵付、陶器絵付、リース、盛岡冷麺（10種類のコース）

- ・団体体験学習の動向の把握及び旅行代理店、学校等を対象とした誘致PR活動のため、岩手県等が主催する教育旅行誘致説明会に参加する。（札幌・函館・東京・大阪・名古屋の5会場）
- ・修学旅行の下見に来る学校、団体等の確実な来場確保に努める。
- ・修学旅行団体ニーズの高まる「農業体験」との共存共栄を図るため、農業体験受入機関などとの連携を強化する。
- ・夏休み、冬休みにおける期間限定の特別体験教室メニューの充実を図るとともに、体験メニューのチラシを盛岡市・滝沢村・雫石町等の小学校に配布する。
- ・手づくり講座の開催  
お菓子づくり教室、野菜ソムリエ料理講座、フラワーアレンジメント講座、各種料理講座など、市民向け講座を数多く開催する。

### （3）交流促進事業

振興センター構成団体や関係機関の参画と連携企画を一層進め、広く盛岡手づくり村と地場産品のPRを図るイベントや物産展を開催する。

また、振興センターの施設活用促進を図るため地場関連業界、機関等の催事利用を呼びかけると共に催事開催に対する支援を行う。

\*季節イベント、日曜、祝日イベント等の開催

- ・盛岡手づくり村春まつり（5月）
- ・盛岡手づくり村チャグチャグ馬コ記念行事（6月）
- ・盛岡手づくり村夏まつり（8月）
- ・盛岡手づくり村秋まつり（10月）
- ・盛岡手づくり村お正月特別営業催事（1月）
- ・盛岡手づくり村小正月行事（1月）
- ・岩手の清酒フェア（2月）
- ・盛岡手づくり村節句行事（3月）

\*関連業界、団体等の催事利用の推進、支援

- ・盛岡市農業まつり（9月）
- ・盛岡手づくり村工房まつり（9月）
- ・南部鉄器フェア（10月）
- ・その他市町村・関係団体の催事

### （4）展示資料室運営事業

- ・展示資料の充実を図り、入場者の増加に努める。
- ・展示品を通じて、地場産品の生産過程や知識高揚に努め、地場産品の普及宣伝を図る。
- ・構成市町村展示コーナーを充実させ、その特産品の宣伝紹介に努める。
- ・ツアーで来場する大型団体の入場誘致を図る。

### （5）共用施設維持管理業務

盛岡市から、南部曲り家、駐車場など市有施設の維持管理業務を受託し、振興センター施設・盛岡手づくり村工房との一体的運営管理による相乗効果を図

り、効率的な運営に努める。

#### **(6) 盛岡特産品ブランド認証委員会運営事業（盛岡市委託事業）**

盛岡特産品ブランド認証プロジェクトの要となる盛岡特産品ブランド認証制度の運営を受託し、物産展等への出展による認証商品の PR、販売促進に取り組む他、認証対象業界に対する認証制度の周知、申請受付、認証委員会の開催等の関連諸業務を行う。

- ・ 認証委員会、プロモーション委員会の開催（各年間 2 回）
- ・ 認証申請募集、認証シールの販売等、認証委員会事務局運営
- ・ パンフレット作成・配布、ウェブサイト活用等、認証商品の PR
- ・ 盛岡デー等、盛岡市主催イベントへの参加
- ・ 事務局によるイベントへの企画、開催
- ・ 盛岡市内ジャスコ等、大型店舗への出展、PR
- ・ 物産展等の催事におけるのぼり掲出等、認証事業所の販売促進支援

#### **(7) 人材育成事業（盛岡市補助事業）**

岩手県委託事業“首都圏での工芸品展示会開催”と連動し、ジバ・デザインプレナー塾オリジナルブランド「M-color's」製品を展示 PR し、併せてデザイン塾生を会場に派遣することで、若手工芸職人の首都圏ニーズ収集を支援する。

また、デザイン塾の運営、開催においては、塾生相互のコラボレーションによる新商品開発を継続して進める。

- ・ ジバ・デザインプレナー塾の継続
- ・ 首都圏における工芸品展示会への出張参加
- ・ 塾生ブランド「M-color's」製品の東京都内アンテナショップへの継続出展
- ・ 染織の新技术、新ブランドの確立に係る研究開発
- ・ 総合的学習等で研修に来る、児童・生徒の指導
- ・ 職員研修に資する各種セミナーへの参加

#### **(8) 情報収集提供事業**

振興センターのホームページを通じて、地場産品情報、イベントや各種講座・教室の開催予告を行うことで販売促進、集客促進に繋げる、

また、平成 21 年度も情報公開の一環となる振興事業の経過や実績の紹介ページを一層充実させることで、市・県民へのセンターの公益事業の成果をアピールする。

- ・ 振興センターホームページの運営  
( <http://www.isop.ne.jp/home/zibasan/center.htm> )
- ・ ホームページによる情報公開機能の充実
- ・ E-mail 活用による迅速かつ効率的な情報伝達の推進
- ・ 振興センター地場産業振興事業実績の周知
- ・ 手づくり体験事業をはじめ、各種事業の PR
- ・ その他、インターネット活用による情報収集

## **( 9 ) 地場産業対策事業**

盛岡地域の農・畜産物や加工食品等の食材を広くPRするために、郷土料理の屋台を一堂に集め「いわてもりおか食文化フェア」を継続開催する。

- ・「いわてもりおか食文化フェア2009」の開催  
(盛岡手づくり村秋まつり・南部鉄器フェアと共催)
- ・関係市町村を通じた郷土料理屋台出展者の募集
- ・イベントの周知、PR活動

## **( 10 ) 地場産業振興研究事業(岩手県委託事業)**

盛岡地方振興局が主催する県央地場産業振興研究会の一員として盛岡地域の地場産業振興方策の検討に助言するとともに、県並びに研究会が平成21年度実施を計画している“首都圏における工芸品展示会企画・開催”の事業委託を受ける等、岩手県と連携しながら地場産業振興を推進する。

- ・県央地場産業振興研究会への参画、出席
- ・盛岡地方振興局の地場産業振興施策策定に対する助言、情報提供
- ・平成21年度実施予定の首都圏における工芸品展示会企画・開催事業の受託
- ・その他、研究会で企画する事業への参加

## **( 11 ) 地場産業紹介催事企画実施事業(盛岡市委託事業)**

ふるさと雇用再生特別基金事業について、盛岡市から委託を受け、この基金を活用し、地域休職者を雇い入れ雇用機会の創出を図りながら、盛岡手づくり村にて地場産業の説明紹介等を実施する。

- ・盛岡手づくり村来場者への地場産業の説明紹介活動業務
- ・盛岡手づくり村での来場者おもてなし実演紹介等の催事開催業務
- ・地場産業振興及び観光振興に関する案内業務
- ・盛岡手づくり村で実施される地場産業振興に資する振興センター主催・共催催事及び関係団体催事への補助業務
- ・その他地場産業振興及び観光振興に資する活動に必要な業務

## **2 . 管理運営事業**

盛岡地域の地場産業振興拠点施設、並びに観光施設としての機能を充実するとともに、周辺施設との連携やエージェントへのPRなど、ソフトやハードの面で強化を図り、来場者の誘致と利便性の向上に努める。

- (1) 各施設利用案内の周知、パンフレットの作成・配布等により、振興センターの利用促進を図る。
- (2) 施設内外の環境整備に努め、施設の安全・清潔を維持し、来場者へのサービス向上に努める。
- (3) アンケート調査を実施してニーズを把握し、広くその要望を取り入れ、利用者への利便、サービスの向上に努める。

- (4) 各エージェントに対し、積極的に誘致宣伝活動を実施し、来場者の増大を図る。
- (5) 手づくり村、小岩井農場、つなぎ温泉で連携した「ワイワイ手つなぎプロジェクト」へ参画し、周辺施設との連携強化に努める。
- (6) 御所ダムビジョン推進協議会への参画。
- (7) つなぎ温泉活性化委員会への参画。
- (8) 盛岡市の花と緑の地域づくりにも呼応して、地場製品の活用を図りながら、環境整備の一環として「手づくり村花壇」の整備を行い、花や緑の村づくりを進める。
- (9) 平成20年12月1日から施行された新公益法人制度について、公益財団法人へ移行すべく関係機関と研究を行う。  
移行期限：平成25年11月まで（施行後5年以内）

### 3. 収益事業

振興センター機能の充実を図り、安定的運営に資するため収益事業の充実を図る。

#### (1) 販売促進事業

- ・ 盛岡手づくり村産直『マルシェ』において、安心・安全な地元の新鮮野菜や果物を販売する他、こだわりの商品を提供する。  
また、『マルシェ』内に試食販売コーナーを設け、出展業者に有効に活用してもらう。
- ・ 岩手県内のレトルトカレーを一堂に集め、販売を行う他、その場で食べていただける岩手のレトルトカレーバーを実施する。  
その他、PB商品でもある「なんじゃら?」「アロニア関連商品」の販売を積極的に行う。
- ・ 盛岡手づくり村産直『マルシェ』において、野菜ソムリエが作る料理が食べられる「野菜ソムリエランチを体験しよう!」企画を定期的で開催する。

#### \* アロニア関連商品開発事業

販売促進事業の一環として、盛岡市東部で栽培された小果実「アロニア」の特産品化を図るため生産者や研究機関等と共同で、アロニアを原料として全国に販路を広げられるような有望な新商品の更なる研究開発を進める。

具体的には、平成20年度の食料産業クラスター展開事業で開発したアロニア粉末活用の乾麺を早期に販売開始し、アロニア関連商品の充実を図る。

また、盛岡商工会議所で進める「アロニアサプリメント開発事業」に参画し、将来の主軸商品として期待される、新たなサプリメントの開発を推進する。

- ・ アロニアうどん、ひつつみ等、新商品の販売促進
- ・ アロニアサプリメント等、全国展開に相応しい新商品の開発
- ・ 盛岡商工会議所主催「アロニアサプリメント開発事業」への参画

#### (2) 施設賃貸事業

南部鉄器協同組合・ホテル大観への施設賃貸をし、観光施設盛岡手づくり村としての魅力継続と収益事業の収入確保を図る。

収 支 予 算 書 総 括 表

平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	一 般 会 計	収益事業特別会計	内部取引消去	合 計
事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
基本財産運用収入	60,000	0	0	60,000
特定資産運用収入	10,000	0	0	10,000
事業収入	76,130,000	21,900,000	0	98,030,000
補助金等収入	45,200,000	0	0	45,200,000
負担金収入	1,670,000	0	0	1,670,000
雑収入	80,000	30,000	0	110,000
他会計からの繰入金収入	0	0	0	0
事業活動収入計	123,150,000	21,930,000	0	145,080,000
2.事業活動支出				
事業費支出	87,216,000	18,000,000	0	105,216,000
管理費支出	42,630,000	0	0	42,630,000
他会計への繰入金支出	0	0	0	0
事業活動支出計	129,846,000	18,000,000	0	147,846,000
事業活動収支差額	6,696,000	3,930,000	0	2,766,000
投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
特定資産取崩収入	2,000,000	10,000	0	2,010,000
投資活動収入計	2,000,000	10,000	0	2,010,000
2.投資活動支出				
特定資産取得支出	10,000	10,000	0	20,000
投資活動支出計	10,000	10,000	0	20,000
投資活動収支差額	1,990,000	0	0	1,990,000
財務活動収支の部				
1.財務活動収入				
借入金収入	100,000	0	0	100,000
財務活動収入計	100,000	0	0	100,000
2.財務活動支出				
借入金返済支出	100,000	0	0	100,000
その他の支出	1,485,000	8,400,000		9,885,000
財務活動支出計	1,585,000	8,400,000	0	9,985,000
財務活動収支差額	1,485,000	8,400,000	0	9,885,000
予備費支出	50,000	50,000	0	100,000
当期収支差額	6,241,000	4,520,000	0	10,761,000
前期繰越収支差額	576,000	32,000	0	608,000
次期繰越収支差額	5,665,000	4,488,000	0	10,153,000

